

# Information\_7

皆さんは『キャットフレンドリー』という言葉を知っていますか？

実は近年、動物病院で広まってきている取り組みのひとつです。今回は一人でも多くの方に知って頂きたいキャットフレンドリーについてのお話です。

## キャットフレンドリーとは

環境と診療によって起こる猫さんへのストレスを最低限にするために敷かれた、動物病院のガイドラインのことです。このガイドラインは ISFM (国際猫医学会) と AAFP (全米猫病院協会) の2つの団体が共同で発表したものです。日本でも2014年に『ねこ医学会』が設立され、猫と飼主さまに対して優しい動物病院環境を作ることを目標とした運動は広がりを見せています。

## 当院で取り組んでいる『キャットフレンドリー』

### お部屋を「犬用」「猫用」に分ける

当院では、入院・ホテル用のお部屋を「犬用」「猫用」と2部屋に分けています。部屋を完全に分けることで犬が苦手、吠える声に怯える、他の動物の気配やにおいを感じて不機嫌になる等のストレスを軽減することができます。また猫用のお部屋には、興奮を静め落ち着きを取り戻してくれる効果が期待できるフェロモン製剤を使用しています。

### 診察室・保定による猫の負担軽減

猫はにおいに敏感な動物です。そのため2つある診察室の内、猫にとっては狭くより落ち着ける第一診察室を優先的に使っています。また以前は診察中、採血を行う際に看護士一人で保定していましたが、保定の人数を2人にする<sup>こと</sup>で、猫にとって無理な姿勢ではなくなり身体的な負担を軽く出来るよう努めています。

## 家族でできる『キャットフレンドリー』

### キャリーケースへ入る不安を楽しいへ

猫にとってキャリーケース=嫌な場所へ連れて行かれる箱、となってしまうことが多いかと思います。病院やおでかけの際にキャリーケースを見せた瞬間逃げ出してしまったり、中に入れられることをとても嫌がって飼主様がケガを負ってしまうこともあるかもしれません。そこでキャリーケースを恐怖の対象にさせないための2つの方法をご紹介します。

#### 1. 普段からお家の中にキャリーケースを置いて慣れさせてあげよう

キャリーケースをいざというときに取り出して中に猫を入れるだけでは、慣れるどころか回を増すごとに外出嫌いになってしまいます。常時普目に入り、自由に出入りできる場所に置いておくことで警戒心をなくすことができます。キャリーケースは、お家で置いておくのはもちろん、動物病院や外出時に便利な上蓋が外れるタイプがおすすめです。

#### 2. 外出時はキャリーケースに布をかけてあげましょう

人が多い場所、慣れない賑やかな場所に長くいることは猫にとってストレスになってしまいます。キャリーケースの上に一枚布をかけて視界を薄暗くすることで、より落ち着く場所へと変えることができます。